

試合番号 : 146		試合会場 : 松本市総合体育館				観客数 : 1,270			
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:24		試合時間 : 01:24		主審 : 森口 豊		副審 : 西山 尚幸	
<b>VC長野トライデンツ</b> 通算 0勝 10敗 ポイント : 0		12 第1セット 25 22 第2セット 25 15 第3セット 25 第4セット 第5セット		<b>サントリーサンバーズ</b> 通算 8勝 2敗 ポイント : 20		監督コメント このコロナ禍の折、大会の開催にご協力いただいている全ての関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。昨日の試合で出た課題を確認し、ミーティングで意志統一を図り本日の試合に臨みました。昨日と同様に、勝負どころで一本が取り切れないという課題を修正し切れませんでした。チームでやろうとしていることではあるのですが、この敗戦で出た課題を次の試合で活かします。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。			
監督コメント 本日もサンバーズへのご声援ありがとうございます。昨日の試合で出た課題を修正し、内容の良いパフォーマンスでした。1つの課題をクリアすると次の課題が見えてきます。一步一步、サンバーズの選手達、チームが強くなっていく実感がありません。VC長野も外国人選手がいない中、我慢強く、粘り強く戦っていました。我々にも必要なマインドだと思っておりますので吸収していきたいです。また、ファンの皆様のご熱気が我々にも伝わってきました。準備いただいた関係者の皆様ありがとうございます。今後ともサンバーズは“PLAY HARD”を実践し成長していきます。引き続きサンバーズへの熱い声援をよろしくお願いいたします。									
要約レポート 第1セット、サントリーサンバーズはトスを柳田、アラインに集め、立ち上がりから一方的な展開となった。VC長野トライデンツは、選手交代で流れを変えようとするが、このセットは25-12でサントリーが先取した。第2セット、サントリーはトスを散らす。一方、VC長野はサーブプレッシュが安定しリードを争う攻防となる。サーブミスに苦しむVC長野に、柳田の強烈なアタックで21-21と追いついたサントリーは、そのまま逃げ切り、25-22でセットを連取した。第3セット、序盤からサントリーは圧倒的な攻撃力を見せつける。VC長野は、池田（颯）、矢貫のアタック等で追いつけるがこのセットも失い、サントリーが3-0で勝利した。									

試合番号 : 147		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 1,500			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:10		試合時間 : 02:10		主審 : 戸川 太輔		副審 : 沢田 元	
<b>ウルフドッグス名古屋</b> 通算 7勝 3敗 ポイント : 20		20 第1セット 25 25 第2セット 20 22 第3セット 25 19 第4セット 25 第5セット		<b>東レアローズ</b> 通算 7勝 3敗 ポイント : 23		監督コメント 昨日の試合で出た課題をチームで話し合い、試合に挑みました。お互いに手の内を知った中での闘いだったため、攻防が活発になり、多くの好プレーが見られたと思います。本日、2021年最後のウルフドッグス名古屋のホームゲームで、ここ豊田合成記念体育館・エントリオに足を運んで頂いたファンの皆さまには本当に感謝しております。山荘(よそお)う秋の季節となり、肌寒くなってきましたが、サポーターの皆さま、ご愛用いただき、次回のホームゲームでお会いできることを楽しみにしております。 Unite as One!			
監督コメント 昨日の試合で出た課題をチームで話し合い、試合に挑みました。お互いに手の内を知った中での闘いだったため、攻防が活発になり、多くの好プレーが見られたと思います。本日、2021年最後のウルフドッグス名古屋のホームゲームで、ここ豊田合成記念体育館・エントリオに足を運んで頂いたファンの皆さまには本当に感謝しております。山荘(よそお)う秋の季節となり、肌寒くなってきましたが、サポーターの皆さま、ご愛用いただき、次回のホームゲームでお会いできることを楽しみにしております。 Unite as One!									
要約レポート ホームゲームでのリベンジに燃えるウルフドッグス名古屋と、連勝し順位を上げた東レアローズの一戦。第1セット前半、WD名古屋はブロック決定本数1位の傳田のブロックが2本出るなどリードする。途中3点差まで広がるが、東レの強烈なサーブが目立つようになり、最後東レ富田のノータッチサーブで東レがセットを先取した。第2セット、東レ・パダルのライトからの強打をWD名古屋のセッター前田がコートに残す好プレーを魅せるなど、熱いラリーが続く。中盤にWD名古屋は近の2本連続ブロックとクレクのブロックでリードを広げ、セットを取り返した。第3セット序盤、WD名古屋は第2セットの流れのままリードする。しかし、東レは11-13から富田の2本連続サーブサービスで追いつき、パダルのブロック・アタックの連続得点で勢いをつけ東レがこのセットを取った。第4セット、東レはこれまで少なかったセッター藤井と幸のコンビでサイドアウトを取る場面が増え、2段トスになるとパダルがしっかりと決め切り、接戦を勝利した。									

試合番号 : 148		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,439			
開始時間 : 14:05		終了時間 : 15:38		試合時間 : 01:33		主審 : 山本 和良		副審 : 西中野 健	
<b>パナソニックパンサーズ</b> 通算 6勝 4敗 ポイント : 20		24 第1セット 26 15 第2セット 25 31 第3セット 33 第4セット 第5セット		<b>堺ブレイザーズ</b> 通算 8勝 2敗 ポイント : 23		監督コメント 試合スタートが非常に悪く、安定したプレーができていなかった。堺ブレイザーズは、ブロックとアタックが強かった。第3セットに私たちに流れがきたかと思いましたが勝つことができず、タフな試合となった。ご声援ありがとうございました。			
監督コメント 試合スタートが非常に悪く、安定したプレーができていなかった。堺ブレイザーズは、ブロックとアタックが強かった。第3セットに私たちに流れがきたかと思いましたが勝つことができず、タフな試合となった。ご声援ありがとうございました。									
要約レポート 昨日に続く大阪ダービー2戦目は、堺ブレイザーズがパナソニックパンサーズに勝利し、8勝目を挙げた。堺は序盤から迫田の堅実なレシーブや出菜田のブロックが光り、徐々に点差を広げる。パナソニックもクビアクのスパイクや山内のブロックなどで応戦し、デュースに持ち込むが、最後は堺の松本がブロックを決め、第1セットをもぎ取る。第2セットに入ってから、堺のセッター深津がバーンの強烈なスパイクを中心に多彩な攻撃を展開し、リードを広げる。最後まで主導権を譲ることなく堺がセットを連取する。第3セットも序盤から堺は松本の速攻などで優位に試合を進めるも、パナソニックはこのセットから先発起用された清水が次々とスパイクを決め、終盤に追い上げを見せる。またもデュースとなり、両チーム一進一退の攻防が続く中、パナソニックの猛攻に対し堺はリベロ山本を中心にボールをつなぎ、高野がブロックを利用したスパイクを決め、必死に食らいつく。4回目のマッチポイントを迎えた堺は最後、迫田が気迫のあるスパイクを決め、アウェイゲームの中、首位の意地を見せつけた。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		第2セット		第3セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		第4セット		第5セット		監督コメント			
要約レポート									